

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社 ニッピ
 コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 桂作
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3888-5117

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,655	22.7	404	16.8	425	12.6	3,892	928.3
2020年3月期第1四半期	11,190	1.6	485	120.5	487	51.3	378	97.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,960百万円 (2,284.6%) 2020年3月期第1四半期 166百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	1,353.22	
2020年3月期第1四半期	131.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	69,454	32,342	45.8
2020年3月期	67,652	28,528	41.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 31,800百万円 2020年3月期 27,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		50.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	13.5	350	67.9	300	71.6	3,800	407.6	1,321.12
通期	40,000	5.7	1,100	40.7	1,000	42.3	4,300	238.3	1,494.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) ニッピコラーゲン工業株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	2,889,000 株	2020年3月期	2,889,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	12,740 株	2020年3月期	12,740 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,876,260 株	2020年3月期1Q	2,876,486 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、期初に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、外出自粛や営業自粛の要請等により経済活動、社会活動は大きく停滞あるいは制限されました。

政府による特別定額給付金、事業継続に対する各種助成・補助金、企業向け資金供給の拡大などの政策により、家計や企業活動において直面する危機感は若干やわらぎ、さらに、5月の宣言解除後には経済活動が再開、徐々に動き始めたことで景気の急落傾向が下げ止まりましたが、新型コロナウイルスの第2波、第3波の到来によっては、経済活動が再び停滞するなど景気浮揚の下振れリスクとなる可能性があり、企業業績、雇用環境、消費活動、インバウンド需要などの回復への影響が懸念されている状況です。

このような経営環境のもと、当社グループにおいてもコロナ禍の影響を受け、靴用革、ハンドル用革、イタリア食材の売上は大きく減少し、ゼラチン、ペプタイドにおいてもインバウンド消費激減の影響と輸出販売の減少により苦戦いたしました。また、「ニッピコラーゲン100」、有機穀物、iMatrixシリーズは好調に推移しました。

また、コラーゲン・ケーシングは、国内需要が低迷するなか、海外販売での価格改定や製造コスト低減など収益の改善がありました。

なお、賃貸・不動産事業では、2020年3月27日公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」に記載の通り、2020年4月27日に東京都足立区再開発地区内の一部を住居用途として売却いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、8,655百万円(前年同四半期比22.7%減)となりました。

営業利益は、404百万円(同16.8%減)、経常利益は、425百万円(同12.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,892百万円(同928.3%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました鳳凰事業株式会社及びニッピコラーゲン工業株式会社は、2020年4月1日付で当社を存続会社とした吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、外出自粛要請が緩和されたものの、観光地や行楽地への人出が減少したことでフランクサイズが低調であったことから厳しい状況で推移しました。輸出販売は、海外他社と競合のなか、収益改善に取り組みながら順調に推移しました。また、生産面では製造コストの低減により収益が改善しております。

この結果、売上高は、2,236百万円(前年同四半期比13.5%減)、営業利益は、403百万円(同58.8%増)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチンは、コロナ禍の影響でグミ用、カプセル用、惣菜用ともに消費活動の停滞から低調に推移いたしました。また、ペプタイドにおいても、国内市場におけるインバウンド需要激減による影響と輸出販売の減少により苦戦いたしました。

この結果、売上高は、1,829百万円(同28.2%減)、営業利益は、157百万円(同35.4%減)となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品は、コロナ禍の影響で在宅率が増加したことや消費マインドの低下などから、売上は減少しました。

一方で健康食品は、通信販売の需要増加と健康志向の高まりを背景に順調に推移しました。

なお、広告宣伝費は、コロナ禍により宣伝効率が低下傾向であったことから効率の良い媒体に絞り込みました。

この結果、売上高は、1,164百万円(同2.3%増)、営業利益は、103百万円(前年同四半期は営業損失24百万円)となりました。

④ 皮革関連事業

靴用革の販売は、外出自粛やテレワークなど生活様式の変容に伴い、革靴の需要が激減し低迷いたしました。

また、自動車ハンドル用革におきましても、コロナ禍に伴う自動車の減産の影響を受けて減少しました。

この結果、売上高は、1,202百万円(同52.7%減)、営業損失は、8百万円(前年同四半期は営業利益98百万円)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場、仮設中学校などの用途で賃貸しております。なお、2020年4月27日に同再開発地区内のE街区は、タワーマンション用途として売却いたしました。

また、大阪市浪速区の土地賃貸事業では、ホテル建設に向けた工事が着工されました。同地区の残地についても新規事業の着手に向け、埋蔵文化財の発掘調査を開始いたしました。

この結果、売上高は、184百万円(同8.4%減)、営業利益は、133百万円(同17.0%減)となりました。

⑥ 食品その他事業

有機穀物、iPS細胞関連、BSE検査キットは好調に推移したものの、イタリア食材は、外出自粛要請や外食産業の営業自粛の影響で前年同期を大きく下回りました。

この結果、売上高は、2,038百万円(同6.2%減)、営業利益は、75百万円(同5.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は69,454百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,801百万円増加しました。これは主に土地の売却等により現金及び預金が5,023百万円増加し、土地が2,048百万円減少、また、コロナ禍の影響による売上高減少に伴い、受取手形及び売掛金が553百万円減少し、商品及び製品が926百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、37,111百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,012百万円減少しました。これは主に土地の売却等により短期借入金が2,153百万円、長期借入金が307百万円、再評価に係る繰延税金負債が414百万円減少し、未払法人税等が1,963百万円増加、また、コロナ禍の影響による仕入高減少に伴い、支払手形及び買掛金が967百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、32,342百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,814百万円増加しました。これは主に土地の売却により利益剰余金が4,687百万円増加し、土地再評価差額金が939百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、第2四半期までは新型コロナウイルス感染症の影響による減収を見込んでおり、第3四半期以降、概ね需要が回復することを前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,180	9,204
受取手形及び売掛金	7,630	7,077
商品及び製品	8,001	8,928
仕掛品	641	578
原材料及び貯蔵品	1,868	1,866
未収還付法人税等	6	5
未収消費税等	844	191
その他	595	393
貸倒引当金	△75	△55
流動資産合計	23,693	28,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,359	9,096
機械装置及び運搬具(純額)	2,272	1,993
土地	27,490	25,442
リース資産(純額)	28	22
建設仮勘定	76	69
その他(純額)	165	158
有形固定資産合計	39,392	36,783
無形固定資産		
リース資産	124	116
その他	196	186
無形固定資産合計	320	303
投資その他の資産		
投資有価証券	3,670	3,776
長期貸付金	33	29
繰延税金資産	249	78
破産更生債権等	8	8
その他	378	374
貸倒引当金	△96	△93
投資その他の資産合計	4,244	4,174
固定資産合計	43,957	41,261
繰延資産	1	1
資産合計	67,652	69,454

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,843	6,876
短期借入金	10,431	8,277
リース債務	44	36
未払法人税等	259	2,223
未払消費税等	39	24
賞与引当金	466	225
役員賞与引当金	53	23
ポイント引当金	52	52
その他	1,607	1,872
流動負債合計	20,798	19,611
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	9,296	8,988
長期未払金	807	767
リース債務	116	110
繰延税金負債	905	866
再評価に係る繰延税金負債	4,059	3,644
役員退職慰労引当金	532	545
退職給付に係る負債	2,232	2,202
資産除去債務	6	6
その他	171	168
固定負債合計	18,325	17,499
負債合計	39,124	37,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	12,533	17,221
自己株式	△38	△38
株主資本合計	18,830	23,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	664	751
繰延ヘッジ損益	9	6
土地再評価差額金	8,746	7,806
為替換算調整勘定	62	26
退職給付に係る調整累計額	△323	△310
その他の包括利益累計額合計	9,159	8,281
非支配株主持分	538	542
純資産合計	28,528	32,342
負債純資産合計	67,652	69,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	11,190	8,655
売上原価	8,701	6,315
売上総利益	2,489	2,339
販売費及び一般管理費	2,003	1,935
営業利益	485	404
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	87	43
為替差益	-	1
持分法による投資利益	2	0
補助金収入	-	16
その他	7	10
営業外収益合計	99	73
営業外費用		
支払利息	46	38
手形売却損	7	5
為替差損	34	-
その他	8	7
営業外費用合計	97	51
経常利益	487	425
特別利益		
固定資産売却益	-	5,284
国庫補助金	-	251
その他	-	1
特別利益合計	-	5,538
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産圧縮損	-	229
会員権評価損	1	-
土地開発関連費用	-	25
特別損失合計	3	254
税金等調整前四半期純利益	483	5,709
法人税、住民税及び事業税	49	2,125
法人税等調整額	41	△314
法人税等合計	91	1,811
四半期純利益	392	3,898
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	378	3,892

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	392	3,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256	87
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	35	△35
退職給付に係る調整額	-	13
その他の包括利益合計	△226	62
四半期包括利益	166	3,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154	3,954
非支配株主に係る四半期包括利益	11	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2020年4月1日付で当社を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社である鳳凰事業株式会社及びニッピコーラーゲン工業株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。これにより、当第1四半期連結会計期間から鳳凰事業株式会社及びニッピコーラーゲン工業株式会社を連結の範囲から除外しております。